

「地域特性にあう4輪電動アシストサイクルの開発」

【講演者】 野中 誉子 氏 (湘南工科大学工学部機械工学科 教授)

【講演概要】

昨年(2021年)、山梨県北斗市からの依頼を受けて、現地の縄文遺跡を巡るツアー向けの4輪電動アシストサイクルの開発に携わりました。当初メンバーにはモビリティの研究開発実績がなく、まさに試行錯誤、色々な方を巻き込んだ試作でしたが、何とか1台、北斗市に納品することができました。免許不要で、転倒リスクの少ないモビリティの可能性に魅せられ、今年度は、湘南エリアで活躍するモビリティとして、設計しなおしています。本日は、昨年度のプロジェクト成果を中心に4輪電動アシストサイクルの開発についてご紹介します。

【講師略歴】

京都女子高校卒、京都工芸繊維大学(工芸学部機械システム工学科)卒、同大学院(工芸科学研究科先端ファイブ科学専攻)博士前期、後期課程修了、博士(工学)。大学院修了後はチェコ国立トーマス・バチャ大学にて、客員研究員として感性情報処理の研究に従事。帰国後、龍谷大学ハイテクリサーチセンターにて、博士研究員として主に情報端末のユーザインターフェースに関する研究に従事。2011年から湘南工科大学(工学部人間環境学科)に講師として着任、(2016年に機械工学科へ転籍、准教授)、2022年4月より現職。